

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
日本語論文作成法 I (自由科目) ※留学生対象	1年次春学期 (1セメスター)	2	小野純一
<b>授業概要</b>			
留学生にとり、短期間のうちに日本語で修士論文を執筆するのは困難なことである。この科目では、指導教員と緊密に連絡を取りつつ、「研究テーマの決め方」から「修士論文の書き方」まで、できる限り丁寧に指導していく。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
① 先行研究の問題点を明らかにし、研究テーマを具体的に決めること。 ② 適切な日本語で、引用文と自説を明確に区別した文章が書けるようになること。			
<b>授業方法</b>			
まず、指導教員の意見や研究計画書を参考にしながら先行研究を収集する。次に、それらの問題点を明らかにして研究テーマを決める。研究テーマが決まれば、関連する先行研究をさらに収集して分析し、その結果を小論文にまとめる。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
小論文によって評価する。評価に際しては、「研究テーマが修士論文につながるものか」「アカデミック・ジャパニーズを用いているか」「引用文と自説を明確に区別しているか」の3点に着目する。			
<b>教科書・教材・参考文献</b>			
プリント教材(オリジナル)を使用する。			
<b>質問への対応</b>			
電話やメールなどによって対応する。			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	授業ガイダンス	授業の目的や履修上の注意点などについて説明する。	
2	図書館ガイダンス	図書館での調査方法について説明する。	
3	アカデミック・ジャパニーズ(1-1)	論文のための日本語表現について概説する(前半)。	
4	アカデミック・ジャパニーズ(1-2)	論文のための日本語表現について概説する(後半)。	
5	アカデミック・ジャパニーズ(2-1)	発表のための日本語表現について概説する(前半)。	
6	アカデミック・ジャパニーズ(2-2)	発表のための日本語表現について概説する(後半)。	
7	アカデミック・ジャパニーズ(3-1)	引用文と自説の区別の仕方について概説する(前半)。	
8	アカデミック・ジャパニーズ(3-2)	引用文と自説の区別の仕方について概説する(後半)。	
9	研究テーマの決定(1)	研究テーマを決めるために先行研究を収集する。	
10	研究テーマの決定(2)	先行研究を分析し、問題点を明らかにする。	
11	研究テーマの決定(3)	先行研究の問題点を基にして研究テーマを決める。	
12	小論文の作成(1)	小論文の作成(論文の構成を考える)	
13	小論文の作成(2)	小論文の作成(先行研究を引用する)	
14	小論文の作成(3)	小論文の作成(自説を適切に述べる)	
15	小論文の作成(4)	小論文の作成(小論文を完成させる)	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
初めて論文を書く留学生のために丁寧に指導するので、1年次の留学生は必ず受講すること。また、「コピーアンドペースト」ばかりの文章は論文ではない。引用文と自説を明確に区別し、自説については自分の言葉で書くようにすること。なお、指示された課題は次回の授業までに完成させ、関連する資料とともに必ず持参すること。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
日本語論文作成法Ⅱ(自由科目) ※留学生対象	1年次秋学期 (2セメスター)	2	小野純一
<b>授業概要</b>			
多くの文章を様々な角度から添削し、修士論文につなげていく。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
適切な表現で修士論文につながる文章が書けるようになることを目標とする。			
<b>授業方法</b>			
「日本語論文作成法Ⅰ」で作成した小論文をはじめ、多くの文章を様々な角度から添削し、修士論文につなげていく。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
平常点で評価する。添削指導を積極的に受け、きちんと発表することが重要である。			
<b>教科書・教材・参考文献</b>			
添削指導を受ける際は、参考にした資料を持参すること。			
<b>質問への対応</b>			
電話やメールなどによって対応する。			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	小論文(1)の添削指導(1)	小論文(1)の添削指導(引用の部分を指導する)	
2	小論文(1)の添削指導(2)	小論文(1)の添削指導(自説の部分を指導する)	
3	小論文(1)の添削指導(3)	小論文(1)の添削指導(小論文全体を指導する)	
4	中間発表(1)	現時点での研究成果を発表し、他の受講生の意見を聞く。	
5	小論文(2)の添削指導(1)	小論文(2)の添削指導(引用の部分を指導する)	
6	小論文(2)の添削指導(2)	小論文(2)の添削指導(自説の部分を指導する)	
7	小論文(2)の添削指導(3)	小論文(2)の添削指導(小論文全体を指導する)	
8	中間発表(2)	現時点での研究成果を発表し、他の受講生の意見を聞く。	
9	小論文(3)の添削指導(1)	小論文(3)の添削指導(引用の部分を指導する)	
10	小論文(3)の添削指導(2)	小論文(3)の添削指導(自説の部分を指導する)	
11	小論文(3)の添削指導(3)	小論文(3)の添削指導(小論文全体を指導する)	
12	中間発表(3)	現時点での研究成果を発表し、他の受講生の意見を聞く。	
13	小論文(4)の添削指導(1)	小論文(4)の添削指導(引用の部分を指導する)	
14	小論文(4)の添削指導(2)	小論文(4)の添削指導(自説の部分を指導する)	
15	小論文(4)の添削指導(3)	小論文(4)の添削指導(小論文全体を指導する)	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
修士論文の執筆が本格化するのは2年次からであるが、締め切り直前に慌てないよう、1年次のうちから書き進めていくこと。また、指示された課題は次回の授業までに完成させ、関連する資料とともに必ず持参すること。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
日本語論文作成法Ⅲ(自由科目) ※留学生対象	2年次春学期 (3セメスター)	2	小野純一
<b>授業概要</b>			
先行研究の要約と分析に焦点を当てて添削指導を行う。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
現地調査や自説の展開に備えて、先行研究の要約と分析をできる限り終わらせることを目標とする。			
<b>授業方法</b>			
受講生による先行研究の要約・分析と授業担当者による添削指導を繰り返し行っていく。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
平常点で評価する。添削指導を積極的に受けることが重要である。			
<b>教科書・教材・参考文献</b>			
添削指導を受ける際は、参考にした資料を持参すること。			
<b>質問への対応</b>			
電話やメールなどによって対応する。			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	ガイダンス	授業の目的や履修上の注意点などについて説明する。	
2	先行研究(1)の要約・分析	先行研究(1)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
3	自説の展開(1)	先行研究(1)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
4	先行研究(2)の要約・分析	先行研究(2)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
5	自説の展開(2)	先行研究(2)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
6	先行研究(3)の要約・分析	先行研究(3)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
7	自説の展開(3)	先行研究(3)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
8	先行研究(4)の要約・分析	先行研究(4)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
9	自説の展開(4)	先行研究(4)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
10	先行研究(5)の要約・分析	先行研究(5)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
11	自説の展開(5)	先行研究(5)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
12	先行研究(6)の要約・分析	先行研究(6)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
13	自説の展開(6)	先行研究(6)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
14	先行研究(7)の要約・分析	先行研究(7)を要約・分析し、添削指導を受ける。	
15	自説の展開(7)	先行研究(7)を踏まえて自説を展開し、添削指導を受ける。	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
修士論文を計画的に執筆していくためには、先行研究の要約など、始めやすいところから進めていき、その都度、添削指導を受けることが重要である。なお、指示された課題は次回の授業までに完成させ、関連する資料とともに必ず持参すること。			

## 2017年度 経営学研究科(経営学専攻) 博士前期(修士)課程シラバス

科目名	開講年次(セメスター)	単位	担当者名
日本語論文作成法Ⅳ(自由科目) ※留学生対象	2年次秋学期 (4セメスター)	2	小野純一
<b>授業概要</b>			
修士論文の完成に向け、添削指導を行う。			
<b>授業目標(到達目標)</b>			
修士論文を適切な表現で書き上げることを目標とする。			
<b>授業方法</b>			
受講生による修士論文の執筆と授業担当者による添削指導を繰り返し行っていく。			
<b>成績評価方法・基準</b>			
平常点で評価する。添削指導を積極的に受けることが重要である。			
<b>教科書・教材・参考文献</b>			
添削指導を受ける際は、参考にした資料を持参すること。			
<b>質問への対応</b>			
電話やメールなどによって対応する。			
<b>授業計画</b>			
	<b>項目</b>	<b>内容</b>	
1	修士論文の添削指導(1)	修士論文の添削指導(目次)	
2	修士論文の添削指導(2)	修士論文の添削指導(はじめに)	
3	修士論文の添削指導(3)	修士論文の添削指導(第1章(前半))	
4	修士論文の添削指導(4)	修士論文の添削指導(第1章(後半))	
5	修士論文の添削指導(5)	修士論文の添削指導(第2章(前半))	
6	修士論文の添削指導(6)	修士論文の添削指導(第2章(後半))	
7	修士論文の添削指導(7)	修士論文の添削指導(第3章(前半))	
8	修士論文の添削指導(8)	修士論文の添削指導(第3章(後半))	
9	修士論文の添削指導(9)	修士論文の添削指導(第4章(前半))	
10	修士論文の添削指導(10)	修士論文の添削指導(第4章(後半))	
11	修士論文の添削指導(11)	修士論文の添削指導(第5章(前半))	
12	修士論文の添削指導(12)	修士論文の添削指導(第5章(後半))	
13	修士論文の添削指導(13)	修士論文の添削指導(おわりに)	
14	修士論文の添削指導(14)	修士論文の添削指導(引用文献)	
15	修士論文の添削指導(15)	修士論文の添削指導(最終確認)	
<b>履修者へのコメント・学習課題(事前事後学習)</b>			
締め切り直前になって慌てる受講生が少なからずいる。一度に添削指導できる分量は限られているので、計画的に書き進めていくこと。また、指示された課題は次回の授業までに完成させ、関連する資料とともに必ず持参すること。			